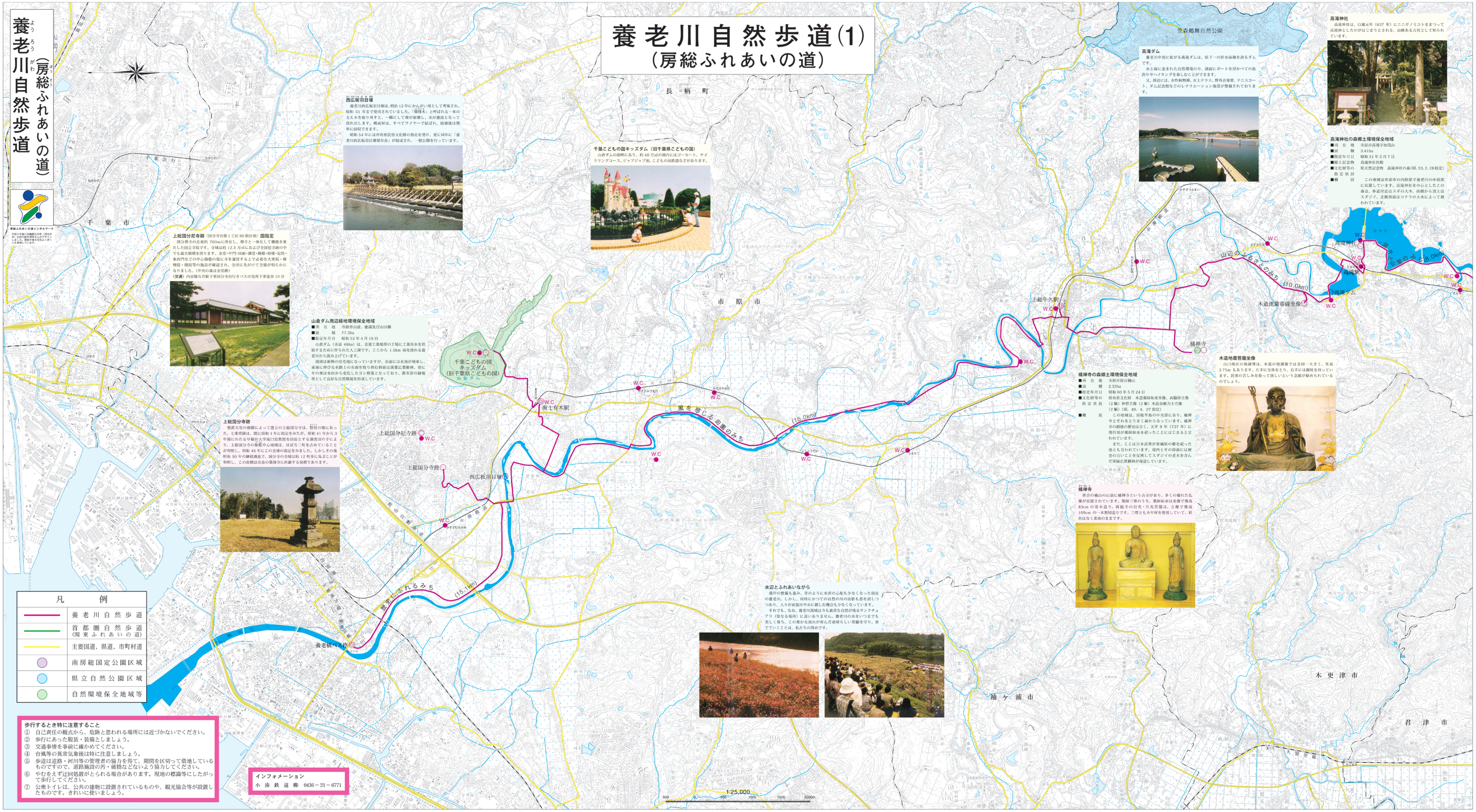
養老川自然歩道(1)
（房総ふれあいの道）

養老川自然歩道（房総ふれあいの道）

房総ふれあいの道シンボルマーク

平成6年度に印旛郡白井町（現白井市）在住の鈴木清司さんがデザインしました。房総半島を元気よく歩く人を表現しています。



西広板羽目堰

養老川西広板羽目堰は、明治12年にかんがい用として考案され、昭和51年まで使用されていました。「横棧木」と呼ばれる一本の支え木を取り外すと、一瞬にして堰が崩壊し、水が激流となって流れ出します。構成材は、すべてワイヤーで結ばれ、崩壊後は簡単に回収できます。

昭和54年には市有形民俗文化財の指定を受け、更に同年に「養老川西広板羽目堰保存会」が結成され、一般公開を行っています。

千葉こどもの国キッズダム（旧千葉県こどもの国）

山倉ダムの湖畔にあり、約40万㎡の園内にはゴーカート、サイクリングコース、ジャブジャブ池、こどもの国鉄道などがあります。

上総国分尼寺跡〈国分寺台第1工区90街区他〉国指定

国分僧寺の北東約700mに所在し、僧寺と一体化して機能を果たした国立寺院です。寺域は約12.3万㎡におよび全国尼寺跡の中でも最大規模を誇ります。金堂・中門・回廊・講堂・鐘楼・経楼・尼坊・東西門などの中心伽藍の他に寺を運営する上で必要な大衆院・修理院・賤院等の施設が確認され、全国に先がけて全貌が明らかになりました。（中央の森は金堂跡）

〈交通〉内房線五井駅下車国分寺台行きバス市役所下車徒歩10分

山倉ダム周辺緑地環境保全地域

- ■所在地　市原市山倉、能満及び山田橋
- ■面積　77.3ha
- ■指定年月日　昭和52年4月19日

山倉ダム（水面46ha）は、京葉工業地帯の工場に工業用水を供給するために作られた人工湖です。ここから1.5km南を流れる養老川から汲み上げています。

周囲は新興の住宅地になっていますが、水面には水鳥が飛来し、東南に伸びる水路上の水面を取り囲む斜面は落葉広葉樹林、更にその奥は水田から変化したヨシ群落となっており、都市部の緑地帯として良好な自然環境を形成しています。

上総国分寺跡

聖武天皇の勅願によって建立の上総国分寺は、惣社の地にあった。七重塔跡は、既に昭和4年に指定をみたが、昭和41年から3年間にわたる早稲田大学滝口宏教授を団長とする調査団の手により、上総国分寺の伽藍中心地域は、ほぼ方二町を占めていることが判明し、昭和46年にこの全域の指定をみました。しかしその後昭和50年の継続調査で、国分寺の全域は約12町歩に及ぶことが判明し、この面積は奈良の薬師寺に匹敵する規模であります。

高滝ダム

養老川中流に拡がる高滝ダムは、県下一の貯水面積を誇るダムです。

水と緑に恵まれた自然環境の中、湖面にボートを浮かべての魚釣りやハイキングを楽しむことができます。

又、周辺には、水性植物園、水上テラス、野外音楽堂、テニスコート、ダム記念館などのレクリエーション施設が整備されております。

高滝神社

高滝神社は、白鳳元年（637年）にニニギノミコトをまつって高滝神としたのがはじまりとされる、由緒ある古社として知られています。

高滝神社の森郷土環境保全地域

- ■所在地　市原市高滝字加茂山
- ■面積　3.41ha
- ■指定年月日　昭和51年5月7日
- ■郷土記念物　高滝神社社殿
- ■文化財等の指定状況　県天然記念物　高滝神社の森（昭.53.2.28指定）
- ■概況　この地域は市原市の内陸部で養老川の中流部に位置しています。高滝神社を中心としたこの森は、参道付近はスギの大木、南側から頂上はスダジイ、北側斜面はコナラの大木によって被われています。

木造地蔵菩薩坐像

山口地区の地蔵尊は、木造の地蔵像では全国一大きく、坐高2.75mもあります。左手に宝珠をとり、右手には錫杖を持っています。民衆の苦しみを救って欲しいという念願が秘められているのでしょう。

橘禅寺の森郷土環境保全地域

- ■所在地　市原市皆吉橘山
- ■面積　2.33ha
- ■指定年月日　昭和60年5月24日
- ■文化財等の指定状況　県有形文化財　木造薬師如来坐像、両脇侍立像（2軀）神将立像（2軀）木造金剛力士立像（2軀）（昭.40.4.27指定）
- ■概況　この地域は、房総半島の中央部にあり、橘禅寺とそれをとりまく森からなっています。橘禅寺の創建の歴史は古く、天平9年（737年）に僧行基が薬師如来を祀ったことにはじまると言われています。

  また、ここは日本武尊が弟橘姫の櫛を祀った地とも言われています。境内とその斜面には歴史の古いことを反映してスダジイの老木を含んだ常緑広葉樹林が発達しています。

橘禅寺

皆吉の橘山の山頂に橘禅寺という古寺があり、多くの優れた仏像が安置されています。薬師三尊のうち、薬師如来は坐像で像高83cmの寄木造り。両脇寺の日光・月光菩薩は、立像で像高109cmの一木割矧造りです。三尊ともカヤ材を使用していて、彩色はなく素地のままです。

水辺とふれあいながら

護岸の整備も進み、昔のように水害の心配も少なくなった現在の養老川。しかし、同時にかつての自然の川の面影も姿を消しつつあり、人々が直接川や水に親しむ機会も少なくなっています。

それでも、なお、養老川流域は今も貴重な自然が残るサンクチュアリ（聖なる場所）に違いありません。養老川の水をいつまでも美しく保ち、この豊かな流れが育んだ素晴らしい景観を守り、育てていくことは、私たちの努めです。

凡例

━	養老川自然歩道
━	首都圏自然歩道（関東ふれあいの道）
━	主要国道、県道、市町村道
○	南房総国定公園区域
○	県立自然公園区域
○	自然環境保全地域等

歩行するとき特に注意すること

① 自己責任の観点から、危険と思われる場所には近づかないでください。
② 歩行にあった服装・装備としましょう。
③ 交通事情を事前に確かめてください。
④ 台風等の異常気象後は特に注意しましょう。
⑤ 歩道は道路・河川等の管理者の協力を得て、期間を区切って借地しているものですので、道路施設の汚・破損などないよう協力してください。
⑥ やむをえず迂回処置がとられる場合があります。現地の標識等にしたがって歩行してください。
⑦ 公衆トイレは、公共の建物に設置されているものや、観光協会等が設置したものです。きれいに使いましょう。

インフォメーション

小湊鉄道㈱　0436－21－6771

平成二十三年三月　千葉県環境部自然保護課（〇四三－二二三－二九七二）

禁複製転載

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号　平22業複、第933号）」

内外地図株式会社